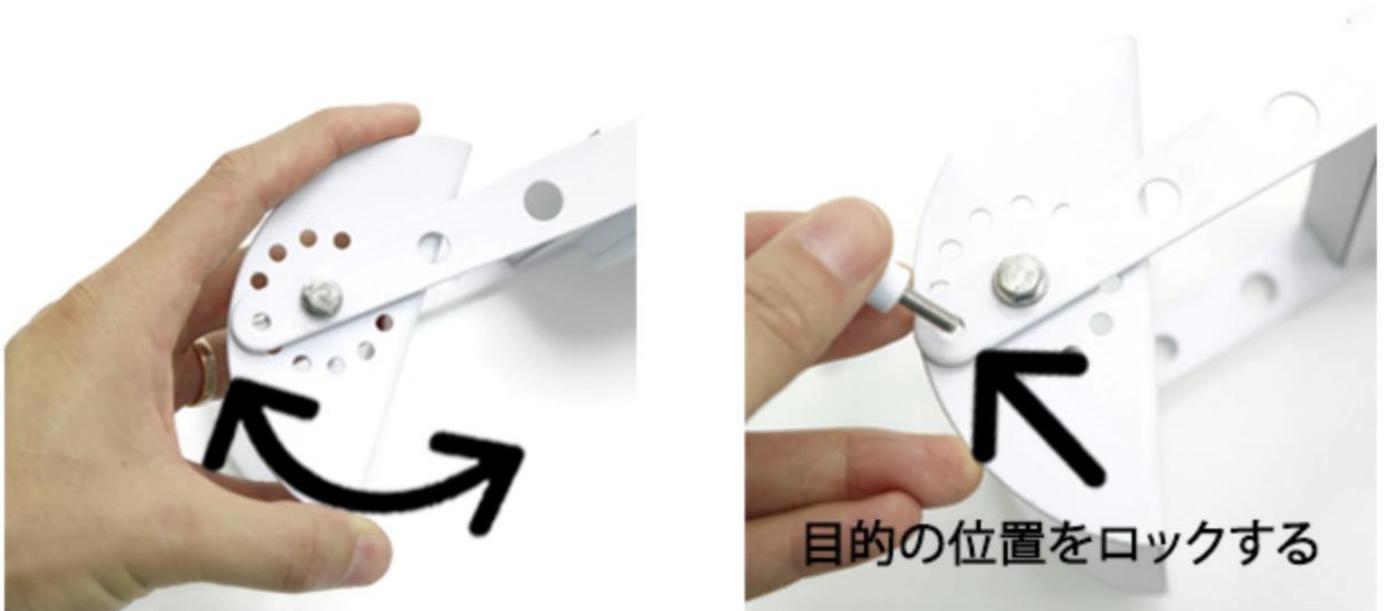


施工説明書

ソーラー付き LED 街路灯

取付方法：

1. ソーラー付き街灯を設置するために日当たりの良い場所を探します。3~4メートルの高さの柱（商品に含まれていません）を直径50~80mmの範囲で取り付けます。柱と柱の間に6-8メートルの間隔をあけてください。
2. 下の図に示すように、金属ブラケットとネジを使用して、照明器具の角度を固定します。

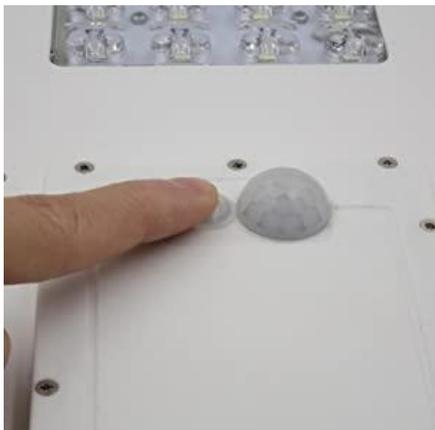


3. 最も日当たりがよい場所に、太陽パネルを太陽に向く適切な角度に配置してポールに固定します。固定したら再度角度調整し、一番太陽光が浴びるようにします。日陰の場所は必ず避けてください。



操作

- 1.電源オン 人感センサーの隣の電源スイッチがオンにしてください。
オンにすると、ライトは夜間に自動的にオンになり、夜明けにオフになります。



2.点灯モードを選ぶ

照明モードが三つあります。人感センサーの中のライトの色で分かれています。

緑色 LED: 夕暮れから夜明けまで (通常の投光モード)。 このモードが選択されている場合、暗くなったら、ずっと 300 l mのままになります。人感センサー起動しません。

青色 LED: センサー起動しない時は全光束 300 lm です。人感センサーで動きを感じたらフル輝度 (2,500 lm) に自動切り替えます。

赤色 LED: 人感センサーで動きを感じない場合はライトがオフになります (完全な暗闇)。 センサーで感知する時だけライトが点灯します。

上記のすべての動作モードでは、ライトは夜間 (または日が暗くなる時) にのみ点灯します。 日中はライトが点灯しません。

パッケージに含まれるもの: リチウム電池内蔵ソーラー街路灯器具 1 個、取り付けブラケット、ネジナット



点灯不具合の時:

天気が悪いためにバッテリーが十分に充電されていないと、LED ライト点灯時間が減ってしまいます。点灯しない場合は、バッテリーの電力が低いことが原因である可能性があります。機器の電源を切って、少なくとも 3 日間は太陽の下で充電してください。